

【幼児教育専攻】 2022 採用試験 合格者インタビュー ③

1 保育者を目指した理由は？

私が保育者になりたいと思ったきっかけは、父親の背中を見てとてもカッコいい職業だと思ったからです。私の父親は、まだ男性保育士が少ないころから保育士として働いていたので、保育のやりがいや楽しさなどを幼少期から聞いていました。まだまだ女性の多い仕事ですが、男性でも自信をもって保育することはとてもカッコいいと思い保育者を目指すようになりました。将来は子どもたちに様々な経験をしてもらえるような保育をしていくことを考えつつ、子どもの経験や反応をみて自分自身が成長していくような、子どもとともに成長していける保育者になりたいと思っています。

2 大阪大谷はどうだった？

私は、自然豊かな町に住んでおり、幼少期から自然に興味があり、保育でも自然と触れ合うことは大切だと思っていました。大阪大谷大学には自然教育コースがあることを知り入学を決めました。入学してみると、大学と連携している保育現場で実践させていただいたり、園庭のビオトープ作りなど実際の現場とかかわる授業が充実し、保育現場の雰囲気や子どもとの関わりを学ぶ環境が整っていました。そして、夢に向かってともに高めあい、支えあうことができる仲間や進路について親身になって相談に乗ってくれたり、サポートをしてくださったりする先生方に出会えたことが大阪大谷大学に来て一番よかったことだと思います。



森田 幸四郎さん
(自然教育コース)

宇陀市 合格！

3 採用試験はどうだった？

入学当初から公立保育職に就くことを目指していたものの、本格的に対策に取り組み始めたのは、4回生の4月。同じ専攻の仲間が勉強する姿を見て焦りました。自宅では集中して勉強ができないと感じたため、通学時間に一問一答の参考書に取り組み、授業がない日に大学の図書館を利用しました。面接対策ではゼミの先生に練習をしていただき、公立保育職採用試験突破プログラムで同じ公立保育職を目指す仲間とともに練習を重ねました。試験当日には、今までやってきた対策を信じることに、自分が試験を受けられるのは、周りの人たちの支えがあったことなので感謝の気持ちを持つことを大切にしました。

4 保育者を目指す高校生にメッセージ

人生の中でおそらく初めての集団生活を経験する場である保育所や幼稚園で、子どもたちの成長や興味のあることを近くで見守ることができる素晴らしい職業だと思っています。合格した宇陀市は、自然豊かな環境があるので私は自然教育コースの学びを生かしていくつもりです。不安もたくさんあると思いますが、大学4年間で様々な経験を積み自分の強みを伸ばしていってほしいと思います。学びだけでなく、ともに保育職を志す仲間も見つけてほしいと思います。辛いとき、苦しいとき仲間の存在があるだけでも自分の支えになると思います。そして、感謝の気持ちを忘れず夢に向かって走り出してください！ 応援しています！